

六月句会互選 お題「バトン」

- 3 要らぬこと喋りバトンを落とす人 基弘
孫みたら確かに似てる変なクセ 哲子
バトンタッチする人なくて老舗閉め 純一
子にバトン渡して隠居楽し夢 ひよこ
受けとった鉄のバトンが重すぎる 乃り子
4 一段とオヤジそっくりコメ大臣 千楽
5 引継ぎが中身カラっぽ宮仕え 千楽
繋ぎたい戦争放棄するバトン 郁子
6 コメ作りバトンタッチがままならぬ アキラ
バトン継ぐ人来て過疎地光りだす アキラ
秀7 団塊のバトン山積み雨ざらし 英二

お題「ニュース川柳」(連記) 勝部乃り子選

- 過半数割れりやどうする石破さん 広子
憂えるアメリカトランプ札に頼り切る 純一
水の事故毎日あつて手を合わす ひよこ
万博に行こうと言うが気乗りせず えいじ
外国人排除への波じわじわと 郁子
あめ玉の甘さを競う選挙戦 アキラ
備蓄米次の首相は進次郎 正清
海山開き楽しむ人の事故はゼロ きよな
参政の真似し始めた自民党 英二
佳 若者はデビット払いクレカ無し ミチ
佳 タンタンを剥製にして里帰り ちさと
佳 学歴がどれ程のもの呆れてる 哲子
佳 十島村悪石島を知る地震 幸男
佳 売れるもの造れぬ国の税頼み 健一
秀 ちよつとだけチラッと見せる卒業証 基弘
軸 選挙近し米だけでよい満足に 乃り子

お題「沈む」森里えいじ選

- シーソーに一人で乗ってそのまんま ちさと
出生減につぼん丸が沈みゆく 純一
人生は浮き沈みあるから楽し 哲子
誕生日近づき心沈む歳 ひよこ
百日紅に見透かされてる鬱の訳 広子
人生は浮き沈みあり気楽あり 幸男
君の顔見れば心が晴れてくる きよな
ターンして沈む自分に檄おくる 哲子
一言をやっと沈めた腹の底 広子
佳 青春も涙も愛もダムの底 英二

- 佳 浮き沈みあつて深みを増したひと 郁子
佳 羨ましい思える気力秘めている 乃り子
佳 その一言沈む心に追い打ちを 基弘
佳 浮き沈み耐えて今あるこれからも 乃り子
秀 浮き沈み何度も超えて今がある きよな
軸 浮いたり沈んだり毎日が勝負 えいじ

お題「ビール」(共選) 谷ロミチ選

- 電話口呂律回らずすぐばれる 基弘
忘れられるビールなくとも何もかも 乃り子
飲めぬ人には理解出来ない先ずビール 乃り子
夏祭り友とビールを半分こ ひよこ
缶ビール父の好んだ銘柄を 郁子
胸張ってサッポロを飲むへそ曲がり 英二
妻いても朝から飲める夜勤明け 基弘
おつかれ生は六甲おろしよく似合う アキラ
冷凍庫に入れて忘れた缶ビール 広子
佳 空き缶で作る風鈴カンカンと 幸男
佳 杯交わしまだ生きてると見つめ合う 純一
佳 大ジョッキまるで筋トレ鉄アレー 英二
佳 社長挨拶にビールの泡萎む 広子
佳 傷心の友を連れ出します一杯 健一
秀 妻ビール夫静かに水を飲む 純一
軸 夏が来た各社趣向をこらします ミチ

お題「ビール」(共選) 奥村義雄選

- 飲めぬ人には理解出来ない先ずビール 乃り子
楽しかった今日を話題に飲むビール 郁子
運転手は君うらめしのノンアル 正清
昼も夜もビール大好き夏だもん えいじ
CMの夏空ビールかつこいい 哲子
生ビールコマーシャル見て喉が鳴る きよな
妻いても朝から飲める夜勤明け 基弘
キンキンに冷えたビールで生き返り 健一
一口目口の回りの泡旨い きよな
大ジョッキまるで筋トレ鉄アレー 英二
佳 冷凍庫に入れて忘れた缶ビール 広子
佳 杯交わしまだ生きてると見つめ合う 純一
佳 傷心の友を連れ出します一杯 健一
佳 今日の憂さビールの泡に流し込む 哲子
佳 コマーシャルビールそんなに違う味 ひよこ
秀 ノンアルのビールに酔ったふりをする ちさと
軸 乾杯のビール許さぬ後戻り 義雄

課題吟 今月の秀句 おめでとうございます

お題「やっぱり」(共選) 伊藤基弘選

一万歩歩くがご飯倍になり	ひよこ
やっぱりと頷く首にある表裏	幸男
十年を目処と買い替えすすめられ	郁子
幸せは腹いっぱいの温ご飯	アキラ
故郷を思い出してるやっぱ好き	きよな
お調子者自業自得の二枚舌	哲子
案の定違法カジノは勝てません	幸男
十億を当てて判らぬ遣い道	ちさと
体操を休んで弱る筋力よ	ひよこ
佳 今月もやっぱり赤字わが家計	健一
佳 アメリカは振りをしてるしたたかさ	哲子
佳 待ち合わせやっぱり遅刻あの人ね	えいじ
佳 選挙戦終わり公約なんだつけ	英二
佳 つめ放題原形のないメロンパン	正清
秀 裏金に失言自民勝てはせぬ	アキラ
軸 外出中やはり心配あれやこれ	基弘

お題「やっぱり」(共選) 五十嵐千楽選

夏はやっぱりビール枝豆冷や奴	純一
外出中やはり心配あれやこれ	基弘
十年を目処と買い替えすすめられ	郁子
今日カレーママがお出かけする日だね	広子
やっぱりね貴方の言葉当たってた	きよな
子どもとも孫ともどこか似ていると	郁子
やっぱり没か予感が当たり納得す	純一
やっぱりな核持つ国の脅し効く	基弘
お調子者自業自得の二枚舌	哲子
佳 案の定直したはずはつもりだけ	広子
佳 十億を当てて判らぬ遣い道	ちさと
佳 つめ放題原形のないメロンパン	正清
佳 幸せは腹いっぱいの温ご飯	アキラ
佳 選挙戦終わり公約なんだつけ	英二
秀 鷹が鷹産まぬとわかる昨日今日	乃り子

お題「バトン」六月句会互選

団塊のバトン山積み雨ざらし	英二
お題「ニュース川柳」(連記) 勝部乃り子選	
ちよつとだけチラッと見せる卒業証	基弘
お題「沈む」森里えいじ選	
浮き沈み何度も超えて今がある	きよな
お題「ビール」(共選) 谷ロミチ選	
妻ビール夫静かに水を飲む	純一
お題「ビール」(共選) 奥村義雄選	
ノンアルのビールに酔ったふりをする	ちさと
お題「やっぱり」(共選) 伊藤基弘選	
裏金に失言自民勝てはせぬ	アキラ
お題「やっぱり」(共選) 五十嵐千楽選	
鷹が鷹産まぬとわかる昨日今日	乃り子

自由吟 野々村アキラ選

欲ばらず文句も言わず感謝する 基弘

わがままな人を選んだ米兵庫

炎天下人の影でも入りたい

いばら道耐えて歩いて米寿前

日本の急所は二つ米と米 義雄

よくもまあこんな地球に九十年

パンダ百数え直してまだ不眠

散骨の海へかもめが涙する

炎天下勝負しに行く夢洲へ 乃り子

満腹感あるが満足感はない

老けたねえ口から出るはお若いね

人にのみ駆け引きというカケヒキが

握られた乳房に爪の跡がつく ちさと

缶詰をプシュッと開けて膿を出す

都合よい時だけけばくなってみる

稲びかり夫婦の溝に乱反射

難儀した今じゃ達人セルフレジ 健一

アメリカがだんだん遠くなってきた

権力を持たせたくない人が持ち

ウクライナに元気届けよ安青錦

ブルーインパルス部活の空を飛んだそう
同世代の活躍おおいなる励み
大谷夫妻シミラールックさりげなく
芥川賞直木賞無い上半期

郁子

墓参り幼なじみに促され
夏負けか散歩は地獄昼寝でも
目覚ましをセットしてから風呂入る
いよいよか肩甲骨が悲鳴あげ

えいじ

先考の骨にもDNAを足す
上弦を括りつけてる青インク
うつの雨のたうち回る寄生虫
妄想がくらげの骨にご変身

正清

住宅に響く選挙の高い声
暑さから避難図書室ホツとする
ついにきた我が家をノック闇の客
ここに来て家族の絆身に沁みる

哲子

＊先考 亡くなった父

来世でも貴方探して共白髪

きよな

ビール党生きがいの夏やって来た
風鈴が今日も暑いぞ頑張れと
テキサスの被害トランプなに思う
沈む心奮い立たせてまた明日

純一

夏休み予定早早決めている
歌番組いつも一緒に歌います
梅雨晴れに太陽あびて水遊び

あき朋

いとこ古希最後のダンス舞台です
ダンス会応援のためおしやれする
プレゼント花より何よりお米券
夕立が雷なしに来てほしい

ひよこ

空梅雨も熱波も米価左右する
人生は今日一日の積み重ね
自由ってコツがあります悩まない
人生は明日のことなどケセラセラ

バースデー割引あつて買すぎる
万博のガイドブックの小さい字
赤いけど違うんだって赤とんぼ
ウグイスと蝉が共演暑い夏

ミチ

勉強会 お題「海」 出席者互選

アキラ

古が三つ川柳によし古古古米
鰻ネタ駄句が続々浮かびます
天気予報聞いてるだけで熱中症
流れから少し離れてする思案

アキラ

7 寄せて引く海が教える処世術
えいじ ひよこ 純一 健一 基弘 きよな 千楽
5 情報の海を彷徨う現代人
アキラ ひよこ 郁子 純一 基弘
5 今はまだ眺めるだけになった海
えいじ 純一 健一 きよな 千楽
4 港祭り船に寝転び見る花火
ミチ ひよこ 郁子 基弘

きよな

ハニトラはプライバシーじゃありません
仏壇のホコリ照らして入る朝日
丹田が行方不明のビール腹
バラマキも魅力だがやはり減税

広子

4 ふるさとがどこよりも好き瀬戸の海
ミチ 郁子 純一 きよな
4 波の音寂しく聞いた盆の夜
ミチ 健一 基弘 千楽

純一

フラッペいや昔ながらのかき氷
解りますかどっちがどっち掛保と三輪
図書館で本も読まずに昼寝する
バス電車野菜室より冷えてます

英二

4 さざえ焼く通りを歩く海の旅
ひよこ 郁子 純一 千楽
3 波風ない家妻がさつさと前歩く
えいじ 健一 千楽

純一

勉強会 お題「海」 奥村義雄選
(秀) 情報の荒波受けてアップアップ
(佳) 今はまだ眺めるだけになった海
(佳) さざえ焼く通りを歩く海の旅

千楽

郁子

ミチ

(佳) 夏休み潮満ちる間の貝拾い きよな
(佳) 北陸の勸進帳の海に立つ ミチ

推薦十句 播本英二選

大ジョッキすぐにトイレに泡となる	正清
妻ビール夫静かに水を飲む	純一
売れるもの造れぬ国の税頼み	健一
太陽が海に半分だけ泳ぐ	ちさと
誕生日近づき心沈む歳	ひよこ
つめ放題原形のないメロンパン	正清
今日カレーママがお出かけする日だね	広子
よくもまあこんな地球に九十年	義雄
仏壇のホコリ照らして入る朝日	広子
目覚ましをセットしてから風呂入る	えいじ

八月誌上勉強会 お題「山」二句
十三日十五時投句締め 十五日九時互選投票締め
奮って投句下さい *互選投票は投句者のみ

八月誌上句会
ニユース川柳(連記) ひよこ選
「マイナス」純一選 「分かる」健一 幸男
「しぶしぶ」英二 広子 各二句
自由吟アキラ 四句 「推薦十句」千楽
投句〆切八月十六日(土) 十五時

*九月句会ですが、九月第3月曜日が祝日の為、
いきいきホールが休館。第4月曜日に行います。
九月句会 九月二十二日(月) 十三時〆
いきいきホール二階で実施